

設問	選択肢
<p>1 次の①～⑤の中から、正しいものを1つ選びなさい。</p>	<p>1 乳癌の診断に胸部CTは必須である。                  2 非浸潤性乳癌(DCIS)であれば乳房切除の適応外である。                  3 乳癌の罹患数は増加しているが、死亡数は減少傾向である。                  4 日本のマンモグラフィ併用乳癌検診率の平均は50%である。                  ⑤ 日本におけるリンパ浮腫の90%は二次性(続発性)である。</p>
<p>2 乳癌について、次の①～⑤の中から正しいものを1つ選びなさい。</p>	<p>1 閉経後の乳癌にはホルモン療法(内分泌療法)が効きにくい。                  2 トリプルネガティブ乳癌は抗癌剤治療が無効である。                  ③ 乳癌で最も頻度の高い転移臓器は骨である。                  4 10mmの癌組織は約100億個の癌細胞からなっている。                  5 ハーセプチンは乳癌に有効な抗がん剤の一種である。</p>
<p>3 乳癌治療について、次の①～⑤の中から正しいものを1つ選びなさい。</p>	<p>1 我が国の胸筋温存乳房切除の割合は約60%である。                  ② 早期乳癌に対してセンチネルリンパ節生検は標準治療である。                  3 レベルIIの腋窩郭清とは大胸筋の外側までの領域である。                  4 ホルモン感受性がある乳癌には、化学療法は行わない。                  5 センチネルリンパ節生検だけでなくリンパ浮腫は重症化しない。</p>
<p>4 リンパ浮腫の発生率で正しいものはどれか。①～④の中から1つ選びなさい。</p>	<p>① 乳がん治療後の発生率は約20%である。                  2 センチネルリンパ節生検後のリンパ節発生率は腋窩郭清術のそれより高率である。                  3 腋窩郭清術に追加で放射線照射を行った場合、リンパ浮腫の発生率は低率となる。                  4 リンパ節郭清術はリンパ浮腫発生に関係ない。</p>
<p>5 続発性リンパ浮腫を発生させる可能性のある下記A～Dの治療のうち、正しいものはどれか。①～⑤の中から1つ選びなさい。                  A. リンパ節郭清術                  B. 化学療法(抗がん剤治療)                  C. 放射線治療                  D. センチネルリンパ節生検</p>	<p>① A、C、D                  2 A、B                  3 B、C                  4 Dのみ                  5 A～D全て</p>
<p>6 小児のリンパ管異常について、次の①～⑤の中から正しいものを2つ選びなさい。</p>	<p>① 乳頸胸水の治療として腹部の乳頸嚢結紮は有効である。                  ② 原発性リンパ浮腫(Primary Lymphedema)は自然治癒するものは少ない。                  3 胎児診断された頸部リンパ管腫はEXITの適応とならない。                  4 頸部リンパ管腫では気管切開の適応となることはほとんどない。                  5 リンパ管腫の硬化療法による副作用として発熱は少ない。</p>
<p>7 小児リンパ管腫の好発部位について、次の①～⑤の中から正しいものを2つ選びなさい。</p>	<p>① 頸部                  2 頭部                  3 肝臓                  ④ 腋窩                  5 脾臓</p>

設問	選択肢
8 小児のリンパ管腫の硬化療法（局注療法）として用いられる薬剤を、次の①～⑤の中から2つ選びなさい。	1 ネオフィリン ② フレオマイシン 3 ピソルボン 4 サイクロフロスフアミド ⑤ ビシバニール(OK432)
9 原発性リンパ浮腫の患者分布で正しいものはどれか。①～④の中から1つ選びなさい。	1 患者は東北地方に集中している。 2 発症年齢は生後すぐが最多である。 3 患者は日本におよそ10万人以上いる。 ④ 患者の男女比は 男：女＝3：7 である。
10 遺伝子と疾患名で原発性リンパ浮腫の原因と関係のない組み合わせはどれか。①～④の中から1つ選びなさい。	1 VEGFR-3—ミルロイ病 2 FOXO2—重複腫毛症候群 ③ VEGF-C—Klippel-Trenaunay症候群 4 SOX18—Hypotrichosis-lymphedema-telangiectasis 症候群
11 原発性リンパ浮腫の治療で正しいものはどれか。①～④の中から1つ選びなさい。	① 先天性リンパ浮腫では生命予後の改善を第一目標とする。 2 妊娠は増悪因子であるため避妊するべきである。 3 リンパ管静脈吻合術により根治が可能である。 4 原発性リンパ浮腫ではリンパドレナージを重点的に施行するべきである。
12 重症上下肢リンパ浮腫に対する外科治療はどれか。①～④の中から1つ選びなさい。	① リンパ節移植術 2 静脈移植 3 縫合糸埋没法 4 腸管切除
13 顕微鏡下リンパ管静脈吻合術について正しいものはどれか。①～④の中から1つ選びなさい。	① リンパ管の硬化がみられることがある。 2 高齢者には適応がない。 3 がんの末期例には適応はない。 4 陰部の浮腫例には適応がない。
14 これまでに報告されたリンパ浮腫の手術法で誤っているものはどれか。①～④の中から1つ選びなさい。	1 大網をリンパドレナージに用いる方法 2 集合リンパ管と静脈を顕微鏡下に吻合する方法 ③ 膀胱をリンパドレナージに利用する方法 4 真皮脂肪弁によるドレナージ法
15 緩和ケアが提供されるとき、適切な開始時期について、正しいものはどれか。①～④の中から1つ選びなさい。	1 がん標準治療の適応がなくなつたときから。 2 がんの身体症状が問題になったときから。 3 がんの手術が終わつたときから。 ④ がんと診断されたときから。

	設問	選択肢
16	WHO除痛ラダ一の第1階で契められている薬剤について、正しいものはどれか。①～④の中から1つ選びなさい。	<p>1 NSAIDs (非ステロイド性解熱鎮痛剤)</p> <p>2 オキシコドン</p> <p>③ NSAIDsあるいはアセトアミノフェン</p> <p>4 トラマドール</p>
17	ガン性疼痛にオピオイド(麻薬)が処方されるとき適切な嘔気対策について、正しいものはどれか。①～④の中から1つ選びなさい。	<p>① コンセンサスのある嘔気対策はまだない。</p> <p>2 オピオイドを中止する。</p> <p>3 中枢性の制吐剤(ノバミンなど)をオピオイドと併用する。</p> <p>4 嘔気が起こったただちに中枢性制吐剤(ノバミンなど)を開始する。</p>
18	リンパ浮腫予防のセルフケアについて、正しいものはどれか。①～④の中から1つ選びなさい。	<p>1 適正な体重を維持・管理する。</p> <p>2 患肢の感染症を起こさないように皮膚を保護する。</p> <p>3 身体を部分的に強く締め付けるような下着(きついブラジャーやガードル)の着用は避けるようにする。</p> <p>④ 可能な限り運動を制限し、安静にする。</p>
19	リンパ浮腫のセルフケア指導について、正しいものはどれか。①～④の中から1つ選びなさい。	<p>① リンパ浮腫の治療は予防期からケアを行っていくことが重要である。</p> <p>2 リンパ浮腫の治療には体重は関係がない。</p> <p>3 下肢のリンパ浮腫を発症した場合は、いかなる場合も同じように下肢の挙上が必要である。</p> <p>4 シンブルリンパドレナージは有効性が確立されているため、リンパ浮腫発症の全患者には積極的な導入が望ましい。</p>
20	リンパ浮腫患者のスキンケアで誤っているものはどれか。①～④の中から1つ選びなさい。	<p>1 入浴時には皮膚を強くこすらず、泡で洗うようにする。</p> <p>2 洗剤は、弱酸性のものを良い。</p> <p>③ 洗浄後は、皮膚を乾燥させることが望ましい。</p> <p>4 皮膚を傷つけないよう日常生活に気を配る。</p>
21	終末期における浮腫のケアで誤っているものはどれか。①～④の中から1つ選びなさい。	<p>1 浮腫が悪化しにくくなるような日常生活の指導が必要である。</p> <p>② 癌性疼痛やしびれが強い際には、強めの圧迫療法が効果的である。</p> <p>3 弾性ストッキングが足・膝関節に食い込むことで浮腫を悪化させることがある。</p> <p>4 リンパドレナージの治療効果は少ないが、浮腫の強い部分に柔らかく触るだけでも症状の軽減が見られる事がある。</p>
22	終末期における浮腫の原因に関する記述の中で正しいものはどれか。①～④の中から1つ選びなさい。	<p>1 終末期も単純なリンパ浮腫が多く、問診や理学所見の確認で原因が確定できる。</p> <p>② 治療を開始する前には、胸水や腹水の有無を確認する必要がある。</p> <p>3 終末期に深部静脈血栓症を合併する事は非常に稀であり、エコナーなどで除外する必要はない。</p> <p>4 一部抗癌剤の副作用により浮腫の見られる事があるが、発赤をともないアレルギー一性であるため、抗ヒスタミン剤が有効する。</p>
23	抗癌剤副作用による浮腫の特徴に関する記述の中から誤っているものはどれか。①～④の中から1つ選びなさい。	<p>1 抗癌剤副作用により重症の浮腫が見られたら、抗癌剤の減量や中止を検討されることもある。</p> <p>2 皮膚・皮下組織が硬化しやすく、関節の可動域制限を伴うこともある。</p> <p>3 発赤や熱感をともない急激に進行することがある。</p> <p>④ 一部の抗癌剤が原因で浮腫の見られる事があるが、抗癌剤を中止すると一週間で浮腫は改善するため、あまり気にすることはない。</p>

	設問	選択肢
24	次の①～⑤のうち、正しいものを1つ選びなさい。	1 ランダム化比較試験はエビデンスレベルⅢである。 2 ランダム化試験が二つ以上あれば、推奨グレードはAになる。 3 エビデンスレベルの研究には一般に症例数が1000人以上必要である。 ④ 権威者によるケースシリーズのエビデンスレベルはVである。 5 ランダム化試験とはオンセットから前向きに行う試験のことである。
25	次の①～⑤のうち、正しいものを1つ選びなさい。	1 推奨グレードBの治療は、科学的根拠は十分だが臨床的合意がない。 2 ある新薬を用いた治療介入研究で、治療群では奏効率が50%だったのに対し、無治療（対照）群では2%だったという臨床論文が報告された場合、「その薬剤を適正治療と判断する」という推奨グレードはAである。 ③ システムティックレビューはエビデンスレベルに相当する。 4 推奨グレードDの治療は禁忌もしくは好ましくない選択肢である。 5 利尿剤は発症後長期経過した慢性リンパ浮腫に対する標準治療である。
26	リンパ浮腫の複合的理学療法として誤っているものはどれか。①～⑤の中から1つ選びなさい。	① 患肢の拳上 2 リンパドレナージ 3 弾性着衣による圧治療法 4 圧迫下の運動療法 5 スキンケア
27	リンパ浮腫は、重症度分類として0, I, II, IIIに分類される。術後リンパ浮腫の治療で、複合的理学療法を積極的に行えるのはStageのどの段階からか。①～⑤のうち、正しいものを1つ選びなさい。	1 術直後 2 0期 3 I期 ④ II期 5 III期
28	リンパ浮腫の治療、主に初期治療について誤っているものはどれか。リンパ浮腫の重症度分類に基づいて、次の①～⑤の中から1つ選びなさい。	① Stage0では軽い浮腫があっても患肢挙上で改善するので特別な注意を要しない。 2 Stage Iでは初期であるので、弾性スリーブ・ストッキングや用手的リンパドレナージは積極的に勧められないことが多い。 3 Stage IIでは弾性スリーブ・ストッキングの着用がもっとも重要である。 4 Stage IIIでは入院治療が好ましいこともある。 5 いずれの時期においてもスキングアは必要である。
29	リンパ浮腫における運動療法について誤っているものはどれか。①～⑤の中から1つ選びなさい。	1 軽度ないし中等度のエクササイズから始める。 ② リンパ浮腫の患肢が麻痺肢の場合は運動療法は禁忌となる。 3 歩行、水泳、軽いエアロビクスなどが好ましい。 4 重いもの持ち上げたり、反復動作は避ける。 5 柔軟体操により関節の可動域を維持するよう努める。